

第2回東京都アルコール健康障害対策推進委員会 東京断酒新生会 発表資料

東京断酒新生会 保坂 昇

(1)2020年度のコロナ状況下での活動報告

- ・緊急事態宣言発令中は例会場の利用中止が多く、活動実績になる例会参加者数は例年の半減。
- ・東京断酒新生会主催の研修会、大会行事も他県断酒会と同様全て中止。
- ・ZOOMを用いるオンライン例会は実施。ある程度の代替手段になっている。
- ・SBIRTS活動は、都内では昭和大学烏山病院の常岡先生と毎週実施。成増厚生病院、ハナクリニックとも散発的に実施している。

(2)2021年度委員会へ向けて決議要望事項

- ・東京都としての相談拠点、治療拠点整備が進んでいない。地域人口から行っても複数の拠点を早急に決めるべき。
- ・SBIRTSについては患者を断酒会につなげる効果が大きいため、医師、医療関係者、保健所職員等を対象としたSBIRTSセミナーを実施したい。断酒会には他県で実施したセミナー内容の知識と実施実績があるので東京都で会場面、参加者募集面について支援してほしい。
- ・断酒会の費用面では都内地区によって例会の会場費が異なる。行政からの支援として無償提供を是非進めてほしい。
- ・2023年に全日本断酒連盟の全国大会を東京断酒新生会主管で開催する。開催に当たっては東京都との共催を望んでいる。全国大会の共催についてはすでに広島県、京都府での実績がある。資料を参照ください。

以上です。

